

第20回 世界歴史都市会議のご案内 於：姫路市 日本

日 程 2026年11月10日（火）～13日（金）

会 場 アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

テ ー マ 持続可能で強靱な未来に向けた文化遺産の保存と活用

アクリエひめじ
公式サイト



サブテーマ
・文化遺産保存のための持続可能な未来の共創（ラウンドテーブル）
・文化遺産の保存と活用の好循環の構築（市長セッション）

プログラム（予定）
10日(1日目) 09:30 オープニングセレモニー
10:00 基調講演
10:40 休憩
11:00 ラウンドテーブルⅠ
12:00 昼食
13:30 姫路城現地視察／理事会
17:30 レセプション（姫路城）

11日(2日目) 09:30 ラウンドテーブルⅡ
10:50 休憩
11:10 ユースプログラム（スピーチコンテスト）
12:00 昼食
13:30 専門家セッション
14:40 休憩
15:00 市長セッション
17:30 夕食会

12日(3日目) 09:00 総会、閉会式
10:30 エクスカーション先へ移動
※ 姫路市、奈良市、京都市より選択

コースⅠ
姫路市
漁業見学
ツアー

コースⅡ
姫路市
書寫山
圓教寺

コースⅢ
奈良市
市内ツアー
レセプション

コースⅣ
京都市
市内ツアー
レセプション

13日(4日目) コースⅢ・Ⅳの参加者は、奈良または京都にて宿泊し、翌日の11月13日にも市内ツアーが予定されています。
※ コースⅢ・Ⅳの参加には、追加費用が必要となります。
追加費用に含むもの：宿泊費、食事代、市内交通費、奈良または京都から最寄りの空港までの交通費

専門家セッション 文化遺産の保存と活用について、2人の専門家が知見を共有します。

姫路城現地視察 築城400年を超える木造建築である世界遺産・姫路城と、隣接する日本庭園・好古園の現地視察を実施します。

ラウンドテーブル サブテーマ：文化遺産保存のための持続可能な未来の共創
自然災害、環境問題や人的災害といった脅威から文化遺産を保護するための取り組みについて、スピーカーによるプレゼンテーションと質疑応答を実施し、持続可能な未来について共に考えます。

市長セッション サブテーマ：文化遺産の保存と活用の好循環の構築
文化遺産を保護するだけでなく、適切に活用し、保存と活用の好循環を実現するうえでの課題について、発表都市が意見を交わし、解決を図ります。

登壇者の募集は6月から開始します

ユースプログラム 絵画展示「わたしのまちの宝物」（小学生対象）
自分のまちの宝物（有形・無形問わず、未来へ残したいもの）を描いていた、会場に展示します。

英語スピーチコンテスト「世界に伝えたいわたしのまち」（中・高校生対象）
スピーチを映像で提出していただき、審査を実施します。優れたスピーチを選出し、会場で放映します。

参加者の募集は6月から開始します

メインテーマの目的

第20回世界歴史都市会議では、以下のSDGs目標及びターゲットに着目します。

SDGs目標Ⅰ 住み続けられるまちづくりを

ターゲット4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する

SDGs目標Ⅰは、包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現することを目標としています。ターゲット4で言及している文化遺産は、文化的・歴史的な重要性を持つ地域や構造物であり、これらの遺産を保存し、国や地域を超えてその価値を共有することで、多様な文化や歴史を理解し、尊重することの大切さを学ぶことができます。しかし、自然環境や社会情勢の変化により、文化遺産は、自然災害、環境問題や人的災害など、様々な脅威にさらされています。

第20回会議は、これらの脅威にさらされる文化遺産を適切に保護し、そして適切に活用する取り組みについて、歴史都市が集結し、知識や経験を共有することで、文化遺産保護への意識を強化するとともに、安全・安心で平和な社会の重要性について再認識することを目的に開催します。

会議公式ウェブサイト：2026年5月に公開予定

- 会議参加登録及び登壇者募集の詳細は、2026年3月にお知らせします。
- ユースプログラムの詳細は、2026年6月にお知らせします。
- 会議参加登録及び登壇者募集は、2026年6月から開始します。

2025年度世界歴史都市連盟理事会開催報告

於：姫路市 日本

姫路市において、2025年度理事会を開催しました。新規加盟都市2都市が新たに承認され、加盟都市数が137都市（65箇国・地域）となりました。

会議の後半からは姫路市が参加し、第20回世界歴史都市会議のテーマや内容について発表を行いました。

日 程 2025年11月4日（火）・5日（水）

会 場 アクリエひめじ 大会議室 407

開催方式 対面、英語

参加都市 理事都市：8都市中7都市

会長 京都市

副会長 コンヤ市（トルコ）、西安市（中国）

理事 バート・インシュル市（オーストリア）

慶州市（韓国）

クラクフ市（ポーランド）

リュブリャナ市（スロベニア）

発表都市 姫路市

※ シーラーズ市（イラン）は委任状を提出し欠席

※ リュブリャナ市は委任状を提出し、オブザーバーとして出席

※ 姫路市は会議内容の発表のため審議及び報告事項終了後から参加

エクスカーショントラッキング

11月4日（火） 姫路市－アクリエひめじ、姫路城

11月5日（水） 姫路市－漁業見学、書寫山園教寺

11月6日（木） 京都市－元離宮二条城、京都市役所、御室仁和寺

11月7日（金） 奈良市－東大寺、奈良公園、平城宮跡歴史公園

会議会場「アクリエひめじ」

会議会場として利用を検討している1階展示場は、面積4,000平方メートル、高さ約10メートルの大型無柱空間で、催しの規模に応じて3分割が可能となっている。姫路市の提案では、展示場の3分の2を利用し、3分の1を議場として設け、残りの3分の1に、各都市のPRコーナー（要申込）や軽食ブースを設置する予定である。

参加理事からのコメント

- ・プログラムはよく構成されており、すべての視察が円滑に実施されました。他都市の代表者と交流し知見を交換する機会が豊富に設けられており、大きな付加価値をもたらすものでした。
- ・姫路市がハラル対応の食事を提供してくださり、様々な宗教を信仰する参加者にとって特に優れた配慮だと感じました。

新規加盟都市紹介－マシュハド市（イラン）

イランの精神的首都、そして歴史的遺産の守護者

マシュハドは、イラン北東部に位置する活気ある大都市。ラザヴィー・ホラーサーン州の州都でもあり、年間何百万人もの巡礼者や観光客が、イマーム・アリー・イブン・ムサ・アル＝リダー（彼の上に平安あれ）の華やかな霊廟を訪れます。アフシャール朝時代にイランの首都でもあったマシュハドは、その自然に恵まれた景観、史跡、充実した交通網、宿泊インフラによってより強められた、イランの歴史・文化との深い繋がりを誇りとしています。

マシュハド市の都市運営政策は、市の独自性の強化と持続可能な開発のため、歴史遺産の保存を最優先事項としています。特に聖なる霊廟周辺の歴史的建造物における、文化財の保護、修復、再興そしてその活用を政策の柱とし、歴史的遺産地を観光拠点及び収益源に変えることにより、経済の活性化を目指しています。マシュハド市都市再生機構は、これらの試みを主導し、利害関係者及び民間セクターと協力し包括的な取組を実施しています。

保存に向けての主要な取り組み

歴史的建築物の復元：マシュハドの歴史的建造物の修復は、精神的な過去と現代の都市生活を結びつける役割を果たしています。マレク邸、ダルガ邸、タヴァコリ邸、アズィンゾラー・ア・キヤランサライ（隊商宿）といった建造物に新たな命を吹き込むことで、この街は静的な記念碑を活気ある文化拠点へと変貌させています。自治体資金と民間投資の両方により、これらの場所は現在、活発なコミュニティスペースとして機能しており、建築遺産が都市の急速な拡大と共存することを確実なものとしています。

歴史的建造物の管理：施設管理担当事務所の設置、近隣開発計画、復元促進包括プランの導入（設計承認、許可、所有者向け融資、プロモーションキャンペーン、道路舗装、ファサード修復、歴史的近隣計画、街路名の元の名称への改称を含みます。）

歴史的通路の復元：また同時に、歴史的な通路の復元は、伝統的な巡礼体験に焦点を当てています。サラープ、イドガー、ホスラビ、タバルシーといった主要ルートは、歴史的なアイデンティティを取り戻すために修復が進められています。マシュハドのような巡礼を中心とする都市において、これらの回廊は単なる交通路以上の役割を果たしています。すなわち、儀礼的な「場所の精神」を保存しつつ、現代的な都市景観と聖なるイマーム・レザ廟を、伝統的かつ歩行者に優しい環境で結びつけているのです。

名称確認と普及：歴史地区の旧街路名及び対応する標識の編集、史跡案内板の設置、歴史遺産物語に焦点をあてた市民ツアー、歴史的な門やイベント・スペースに関する実現可能性の調査、タグ歴史の隊商宿泊施設兼要塞、タグ・イーヴァン、トゥース歴史の城壁等の名所の復元。

適応型再利用と投資：2百万ユーロを限度とするソーシャル・パートナーシップ（社会協同制度）。地域経済を支援する民間投資を推し進めると同時に、価値ある家屋を再生させ、プティック・ホテル、伝統的カフェ、レストランとして再利用します。

これらの取り組みは、国が指定する56の歴史的な家屋及び650の文化的価値を有する特定建築物を保護し、都市再生及び史跡保護のリーダーとしてのマシュハド市の地位を確立しています。

事務局からのお知らせ -年会費について-

現在事務局では、2026年度年会費の支払いを受付けています。詳細は、公式ウェブサイトにて請求書をご確認ください。



世界歴史都市連盟事務局

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
lhcs@city.kyoto.lg.jp <https://www.lhc-s.org>